

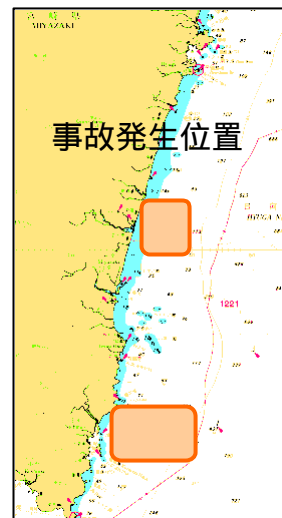
# 釣り船の沿岸事故多発

平成22年1月22日  
宮崎海上保安部

釣り船の転覆、座礁など沿岸事故が平成22年1月中に相次いで3件発生し、1名が死亡しています。

主な原因は、気象海象に対する不注意とみられます。出港前に、**気象海象を十分把握し、無理な運航は避けましょう。**

また、事故発生に備えて、必ず**ライフジャケットを着用し、携帯電話などの連絡手段を確保するとともに、事故発生時には118番に速報して下さい。**



## 一ツ瀬川河口で釣り船転覆、1名死亡



- 富田漁港を出港した釣り船が、一ツ瀬川河口で三角波を受け転覆。
- 船長が死亡。

**一ツ瀬川河口は三角波が発生しやすい河口付近で波高1m以上の波がある場合は、地元漁船は出港しない。**

三角波・河口流の説明 [ <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN10/press/kiji/200906-3.pdf> ]

## 大浦沖で釣り船(1名乗り)座礁、沖磯からの海中転落



- 釣り船がアンカーロープをプロペラに絡めたため、風・波に流され岩場に座礁。
- 船長が**118番で救助要請**し、海上保安庁ヘリコプターに、無事救助された。

- ミニボートで沖磯に渡って釣り中、高波により海中転落。**ライフジャケット着用で漂流中**に付近通航船に、無事救助された。

**気象海象を把握し、無理な運航を行わないことが重要。また、単独行動はやめましょう。**